



カナメモチ



カクレミノ



ヒメユズリハ

- ・ ツル植物にはテイカカズラ、サネカズラ、イタピカズラ、ムベなどが見られる。
- ・ 下草にジャノヒゲ、コ克蘭、シュンランなどがある。
- ・ A地点舗装道路際にはムクノキ、ナナミノキ、アラカシなどの高木がある。



A地点にて



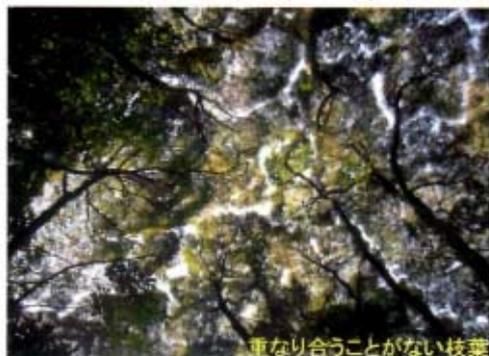
コジイの森

☆コジイの高木が立ち並ぶ森の中では、上空を見上げると、樹冠によって形づくられた天井にすっぽりと覆われており、あたかもドームの中に入ったかのような独特な空間が形成されている。

☆この天井をよく観察すると、隣り合う樹木の枝葉は決して重なり合ったり、交わったりすることがない。

微妙な隙間を保ちながら見事に互いの領域を侵すことなくドームの天井を形成していることが分かる。

これは相手の侵入を許さないために葉から互いに出し合うエチレンガスにより、相手の発芽、枝の成長を抑制し合っているためだといわれている。



☆また高木の幹の途中に枝がほとんどないのはなぜか？

本来木は幹を伸ばして上に伸び、枝を伸ばして横に広がっていく。

この森のように隣り合う木が同様に成長してくると、自然と上部で光の奪い合いとなり樹冠に枝葉が茂り、

